

構築会兵庫支部 平成22年度総会・講演会の概要

平成22年度の講演会は、コルゲート鋼板を用いた曲面的なデザイン手法で著名な建築家「遠藤秀平」氏(神戸大学大学院工学研究科教授)を兵庫県庁近くの兵庫県民会館にお招きして6月に開催しました。44名が参加し、社会基盤工学部門の奈良先生にもご出席いただきました。

「パラモダン・アーキテクチャー」をテーマに、明治維新後、西洋文脈で建築思想や技術を運用してきたパラダイムが、21世紀に入り変動しつつある状況に即して、遠藤氏がこれまで取り組んで来られた国内外の建築についてご講演いただきました。平成19年度の見学会で訪問した三木総合防災公園内の屋内テニス場(ビーンズドーム)も同氏の設計・監理によるものです。当日早朝にサッカーW杯の日本戦が放映されたため寝不足気味の方も多いかと心配しましたが、各建築に込められた設計の意図やエピソードについて興味深くご説明いただき、参加者は熱心に聞き入りました。

講演会の後、同会館内で講師の遠藤氏を囲み、懇親会を開催しました。建築工学部門の宮本先生にも加わっていただき、新社会人2名の参加も得て、大いに親睦が図られたのではないかと思います。

